

# 福原の熊野宮

— 福原 —



福原にある熊野宮(源氏山熊野座神社)

福原から川内田方面を800ほど行つたところに、「熊野宮(源氏山熊野座神社)」があります。「熊野宮」は福原集落の氏神であり、木山神社の末社です。境内にはほかに「稻荷社」と「妙見」も合祀されています。

『福田村郷土誌』によると、「縁起は不詳・祭神は伊弉冉尊・速玉男命・豊岩窓命・櫛岩窓命・外二座神名は不詳・社殿は宝暦10(1760)年の造営・大工は上木兵工」とあり神像の左右には二基一対の狛犬が神社の荘厳と浄化を守護する意味で置かれています。文献が少ないため由来などは不明ですが、この地が福田寺(1240)・1580年頃の山岳修験寺)の修験僧にとつて朝来山で修行するための峰入りの場であることから、同じ天台宗を信仰する熊野宮と何らかの関係があつたのではないかと思われまゝ。現在「熊野宮」のある場所には、福田寺の「第一鐘撞堂」があつたといわれています。鐘撞堂はほかにも「第二」「第三」とあり、毎日響きわたる鐘の音は、周辺住民の信仰心を高め、日常の平穩を願う気持ちを強くさせたと思われまゝ。

昔、裏山の岩石が崩落して社殿を押しつぶしたとき、ご神体は境内にあつた「音無桜」の根元まで飛んで安座したとの言い伝えがあります。平成3年の台風で岩が崩落して社殿を押しつぶしましたが、翌年には改築されています。例祭は9月6日で朝から境内に集まつた氏子で御神酒上げをし、その後公民館では子ども相撲が奉納されています。

参考文献

- 『益城町史 通史編』
- 『益城町史 史料・民俗編』
- 『福田村郷土誌』

益城町文化財保護委員会

## 俳句

早川宏次 選

韓ドラを甘酒飲みて見入る午後  
 そぞろ寒刈り田も涼し老の皺  
 ましき田の面変わりして秋深む  
 竜巻にマイホームの夢消えさりし  
 猛暑日も月の変わりりで秋を知る  
 朝露の真珠と成し陽の出かな  
 大輪に掛声しきり江戸花火

広崎 松原まゆみ  
 下陳 山田 凡骨  
 下陳 城 陶子  
 惣領 阪口由美子  
 惣領 新居 露子  
 惣領 阪口 基明  
 木山 増岡 伸禧

## 狂句

田上富岳 選

手際よき 生前葬で元取らす  
 手際よき もう後ぞえばもろとらす  
 手際よき 嬢騙すは屁でも無やア  
 手際よき チャツチャツと菜三品  
 手際よき だてには歳や取つとらん  
 回りまわって のし紙だけが替つて来  
 回りまわって やっぱり来たか金策に  
 回りまわって ようよ見つけた目的地  
 回りまわって 棚田潤す水路かな  
 回りまわって 生まれ故郷に戻らした

木山 増岡 酔粋  
 江津 高田美佐子  
 寺迫 左 喜樹  
 広崎 松原まゆみ  
 宮園 井藤 吉郎  
 惣領 小森英美子  
 惣領 阪口 基明  
 広崎 松原まゆみ  
 島田 堀川 骨鶏  
 宮園 永瀬 美波

狂句次号の課題 「たまがった」「万が一」

投稿は役場広報係まで。

投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。

※数種に投稿される場合は、別にお送りください。